

平成30年

目黒区教育委員会

第17回定例会会議録

(平成30年5月15日開催)

第17回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成30年5月15日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	後藤 幸子
	教育委員会委員	櫻井 道雄

出席職員	教育次長	野口 晃
	教育政策課長	山野井 司
	学校統合推進課長	和田 信之
	学校運営課長	村上 隆章
	学校施設計画課長	鹿戸 健太
	教育指導課長	田中 浩
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	古舘 秀樹
	生涯学習課長	馬場 和昭
	八雲中央図書館長	増田 武

書記		小野塚 幸隆
		山東 隆博

(議事日程)

- | | | |
|------|------|--|
| 日程第1 | 報告事項 | めぐろ学校教育プランの進捗状況（平成29年度分）について |
| 日程第2 | 報告事項 | 目黒区教育・保育に係る利用者負担額の多子軽減措置の拡充について（案） |
| 日程第3 | 報告事項 | 国の特定教育・保育に係る利用者負担額の軽減に伴う見直し及び指定都市の税源移譲に伴う保育料算定に係る措置について（案） |
| 日程第4 | 報告事項 | 平成29年度目黒区めぐろ歴史資料館等の利用状況について |
| 日程第5 | 報告事項 | 教育委員会名義の使用承認状況について |

資料配布

- ・平成30年度教育施策説明会（前期）パワーポイントスライド

(午前9時30分開会)

- 教育長 第17回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は後藤委員です。それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 めぐる学校教育プランの進捗状況(平成29年度分)について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はありませんか。

○委員 シンプルでわかりやすい表記になっていると思います。「②予定通り実施できていない。」の2項目について、今後の方向性が示されていますが、もう少し何か具体的に、例えば数値でここまではやるとかというような書き方はしないのですか。

予算も関係してくると思いますけれども、ICTの環境整備については可能な限り充実させていく、の「可能な限り」が抽象的で、説得力に欠けるという印象があります。例えば、学校数の記述をするとかが必要だと思います。あと、放課後子ども教室事業のことについても、拡大を目指しているのであれば、何校拡大を実現すると、具体的な数字の表記は難しいのでしょうか。質問です。

○説明員 予算との関係もありますので、基本的に数値としての目標は、各年度の教育行政運営方針の実施策に掲げているものについて、先ほど申し上げた法に基づく点検・評価として掲げていくのが一番ふさわしいと考えてございます。

ご意見も参考に、そういったものが書き込めるようであれば、書き込むような形では検討していきたいと思いますが、この進捗状況については、大まかな方向性を自分たちで確認するというのが主眼と考えてございます。

○説明員 ICTの環境整備について、補足説明させていただきます。

この計画と、区がつくっている財源の裏づけのある実施計画は、年度がずれてございます。29年度までの実施計画で目指していた整備目標よりも、新たにこの30年から向こう5年間の新実施計画で目指す整備目標のほうがレベルが高い。そのこともあって学校側に説明をして、5年リリースですから、本来29年度中に入

れかえるものですが、6年リースとし、そのかわり新しい実施計画の中で、小中学校全教室に電子黒板機能付きのプロジェクターを設置するという新たな目標を掲げて、これから推進してまいります。

○委員 今の説明でよくわかりました。実際の計画は実施計画に基づくということ、プランは大きな方向性を示すもので、点検・評価で具体的なものが落とし込まれているということで、理解しました。

○委員 29年度の取組状況の中で、理数教育の充実の東京工業大学の卒業生が実施するという項目ですけれども、これは今後の方向性のところで予算の問題が出ております。30年度から実施するというのであれば、予算について方向性は出ているということでしょうか。

○説明員 これは東京都の補助事業で補助金をもらいながら行っていた事業ですけれども、28年度で都の予算は打ち切りになりました。当区の一般財源から持ち出してきたところで、学校が求めればそれに対応できるような状況でございます。

○教育長 その他ご質問等ございますか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 目黒区教育・保育に係る利用者負担額の多子軽減措置の拡充について(案)(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 国の特定教育・保育に係る利用者負担額の軽減に伴う見直し及び指定都市の税源委譲に伴う保育料算定に係る措置について(案)(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 先ほどの目黒区の説明の中で、他区から目黒区に移ってきた人が「目黒区では第2子は産めない」と言ったのか、それとも、既

に目黒区で住んでおられる方が、第1子に比べて第2子が他区に比べて負担が大きいというような意見を言われたのか、どのようなのでしょうか。

保育施設の利用者負担の問題も、これは他区と比較して、目黒区の軽減割合が少ないということですが、これは、他区の場合の児童数の増え方と目黒区の児童数の増え方に差があるのではないかと、それをある程度反映されたような補足説明、これも必要だと思います。

以前から目黒区の児童数、小学校の入学者数等は増えているという話を聞いておりますので、それと同じように、目黒区で生まれて育った子どもたちも増えているだろう。他区はどうかということの補足説明が欲しいなと思います。

○説明員

1点目のご質問で、目黒区在住者から第2子についてのご意見をいただいたのか、ということですが、もう既に第2子がいる方たちについて、第1子の分、第2子の分、相当な値上げ額になりますので、そういった意見が寄せられているという状況です。目黒区は今、確かに児童数、未就学児も含めて人口増加の状況ですが、23区内ではおおむねの区でそのような状況が続いています。

待機児童対策、各区の取組みは様々でございますけれども、目黒区のように、なかなか追いつかない状況もございます。子どもの数が増えているから、保育園を目黒区はつくらなければいけない、保育園をつくれれば、当然、その後の運営に当たる扶助費が年々、経常費として増大してまいりますので、そこを保護者の方にぜひ、少しでも負担の割合を増やしていただきたいというお話をしているところです。

入園説明用の資料の中で、園児1人に係る経費を各保護者に説明をしていますが、国の児童福祉施設の最低基準で保育士の配置が決まっています、0歳児は子ども3人に対して保育士は1人、年齢が上にいって4～5歳児であれば、子ども30人に対して1人ということで、低年齢児については人件費を考えれば膨大な税金を投入する形になります。

保護者に説明する資料の中では、0歳児1人に対して、月額ですけれども、44万8,260円かかっています。これは保育園の施設の維持管理経費、光熱水費、あるいは、職員の人件費等であり、給食費をいただいてませんから賄い費も含めてそれぐらいか

かっていますと説明していますが、ご意見をいただいた保護者の方たちは、「私は毎月それよりも多く税金を納めています」というようなご意見もいただいている、「さらにそこから取るんですか」というご意見をいただいている状況がございます。

- 教育長 その他ご質問等ございますか。
 特にないようでしたのでこの報告を受けました。
 次に日程第4を議題とします。

(日程第4 平成29年度目黒区めぐろ歴史資料館等の利用状況について
 (報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
○教育長 小学生向けに始めたというのはいいことだと思いますので、学校行事以外でも、親子でもこういう企画展などを見学するというようなPRの強化に努めていただきたいと思います。全体的に児童数は増えていますが、全体的に利用者数が減っている傾向があります。ぜひ、PRの強化をお願いして、多くの人に企画展を見ていただき、ワークショップに参加していただけるように、PR・周知の強化に努めていただきたいと思います。

- 教育長 その他ご質問等ございますか。
 特にないようでしたのでこの報告を受けました。
 次に日程第5を議題とします。

(日程第5 教育委員会名義の使用承認状況について (報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等はございませんか。
 特にないようでしたのでこの報告を受けました。

〔 資料配布
 ・平成30年度教育施策説明会 (前期) パワーポイントスライド 〕

- 教育長 その他何かございますか。
 以上で、本日の定例会を閉会とします。

(午前10時22分閉会)